

令和6年度・前期 議会モ二夕一事業報告書



一関市議会広聴広報委員会

【事業報告書の内容】

I. 議会モニターと議員の意見交換会（P2～P5）

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（P6～P12）



I. 議会モニターと議員の意見交換会

1. 開催概要

- (1) 開催日 令和6年10月2日(水) 10:30~12:00
- (2) 場所 議員全員協議会室
- (3) 出席者 議会モニター7名、議員9名(議長、広聴広報委員)
- (4) 意見交換 班に分かれてのワークショップ(ワールドカフェ)

【テーマ】

- ① 会議の運営について
(市民に伝わる会議になっているか)
- ② 一般質問について
(市民に伝わる議論になっているか)
- ③ フリーテーマ



2. 議会モニターからの主な発言内容

【 会議の運営について 】

- 議会の威厳や形式に拘らず、簡潔な質疑答弁とし、中身の議論に時間をかけてほしい。
- 無駄な時間を省き、効率のよい会議にしてほしい。
- 賛成、反対の討論をもっとすべきである。
- 議員の質問の質を向上させることが必要。質問は積極的にしてほしい。
- 議会は特殊で聞いていても一般の住民にはよく分からない。それはそれで仕方がないこと。ただ、議会で決まったこと、議論した内容を分かりやすく市民に伝えるのが議員の役目である。
- 議会（一般質問含め）の結果が、どうなったのか分かるようにしてほしい。
- 議会を傍聴しても得るものが少ない。伝える工夫を。
- 議会中継では当事者（質問者、回答者）だけでなく、他の議員も映すべき。
- 傍聴者を増やすための努力が必要。議員の活動や人となりを知らせる工夫がほしい。
- 暑い中、上着を着て、それでいてエアコンをつけているのは理解しがたい。

【フリーテーマ】

- 議員がやっていることが、市民生活の向上にどのように反映しているのか、伝える努力がほしい。
- 市民は議員との接点がない。議員が市民の声を聞いているのか分からない。議員から市民へのアプローチが必要では。
- 市役所を動かす努力が必要、今後のまちづくりが大変な中、市民と議員が話し合う場を増やすことが大切。
- 議員は各地域を回って歩き、状況を把握してほしい。
- 形式や威厳に拘りすぎないほうがよい。
- 市役所、各支所内にテレビモニターを設置して、議会開催時は議会中継をながしてほしい。
- 配信動画のダイジェスト版があるとよい。
- 議会の専門用語が分からない。用語集があるとよい。
- 議会だよりの文字が小さい。高齢者は読みにくい。
- 議会報は以前に比べ見やすくなったが、市民に読んでもらうまでのハードルがまだ高い。
- 災害に対して安心して暮らせる市政を。
- 一関中心部だけではなく、周辺地域にも目を向けてほしい。
- 地域医療、子育て問題をもう少し取り上げてほしい。
- 職員の挨拶がなっていない。しっかり教育してほしい

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（～9月末）

議会モニターからは、書面（文書やメール）をもって随時、意見等の提出があります。

以下は議会運営や議会だよりについていただいた意見等です。

（※一部要約）

■No.1 ■意見区分：本会議（6/18）

初めて一関市議会の本会議を傍聴させていただきました。人生初の本会議傍聴でした。初日でしたので、もう少し傍聴する方が多いのかと思っていましたが、数人しかおらず市民の関心が薄いとも感じました。

【傍聴して感じたこと】

初日だったので、市長からの人事紹介があったのですが、一関市のトップの方々が一列に整列し背筋を伸ばし緊張した面持ちで自己紹介をする姿はとても新鮮で、学生時代の生徒会みたいだと感じました。凄いやる気を感じました。この気持ちをずっと持って色々なことに取り組んでいただきたいと思いました。ただ、その他のそれぞれの部署の紹介の時、その部署の上の方が、この機会に紹介しますと部下を紹介していましたが、何回も「この機会に」と付けていたので、違和感を覚えました。ただ「紹介します」でよかったと思いました。

議事の時、議員の席一人一人にタブレットがあり、それを見ながら進めていました。ペーパーレスでとてもよいと思いました。傍聴者には詳しい内容の資料が無かったので、もし可能なら同様のタブレットの貸出し、もしくは紙の詳しい資料があったらよいと思いました。

一関市では目に不自由な方、耳の不自由な方も傍聴できるのでしょうか。できるならどのような対応をしているのでしょうか。手話、点字、その他で対応しているのでしょうか。もっと、市のことに関心を持ってもらえるような対策も必要ですし、誰にでもやさしい一関市であってほしいと思いました。

■No.2 ■意見区分：本会議（6/21）

初めて一関市の議会の様子を傍聴させていただきました。栗原市や北上市の様子とは違っていることを感じる事ができました。もっと元気で活気があると思っていましたが、今回はいろいろな不祥事があったためと考えられました。

那須勇議員、岩淵典仁議員の質問を10時～11時30分まで見学させていただきました。市長、副市長等の元気がない答弁が残念でした。自信をもって答弁してほしい。

議員の様子をみて、残念だったことは、10時～11時30分まで会議中に寝ている人が4名、タブレットで会議に関係のないようなことを見ている人が4名。私語はつつしんでほしいと思いました。

■No.3 ■意見区分：本会議（6月通常会議）

一般質問に先立っての市長の行政報告は、こちらまで心痛が伝わってくるようだった。正しく職務に励んでいる職員が存在を私も忘れてはいけない。

傍聴していてビックリしたことの一つに市長の横や後ろの席に〇〇部長の肩書がついた人が多くいたこと。合併や分業化の影響かな。行政が骨太になり安心だけど市の歳入、財布、行政執行は大丈夫かなと歳出より気になった。

【一般質問①空き家問題】課題と対応策の方向性を伺った。空き家にしなければならなかった理由もそれぞれ。安全性など緊急処置を感じられなければ放置が増える一方。リノベーションで活用するとしても数軒。

【②学校給食供給について】県立中学校に給食を供給していない理由として配膳室設備がない。供給の要望がないとのこと。配膳室を整える費用が無いの。郷土の宝は子どもたち、希望者が少数であっても費用より優先ではないか。「こども食堂」の存在、長期休みの夏休みなどは給食が無く栄養面が心配の声や手をあげられないでいる人も忘れないでほしい。給食供給に限らずに助けて、困っているのですと手も声をも出せないでいる。県の意向ではなどと先に言われのは、あきらめなのか、かわりが面倒なのか、我慢強いのか。

自死、人口流出、高齢化、人手不足、自然災害など一関市が消滅しないか心配。

地域こども協力隊の要請のように、市から市民へ具体的に〇〇について協力してほしいとされては。地域、団体、個人など。

ネットやケーブルテレビなどで議会にふれること、さらには全世帯配置のアスモを活用すると、より多くの市民も議会に関心をよせる一端になるのではないかな。

■No.4 ■意見区分：本会議（6/24）

一関第一高等学校の生徒と一緒に傍聴できてよかったと思いました。6/21 より議員の様子が少し違ってみえました。雰囲気的に緊張感につつまれていたようです。

残念なことは、6/21 よりは少なかったのですが、会議中に寝ている人が3名、タブレットで私語をしている人が3名。高校生も気づいたようです。

市長、各部長の答弁は6/21 より良かった感じがします。

永澤議員から、栗原市や北上市を参考にしてはということがあったことは good です。議員の質問力向上に期待しています。

他市の議会を議員にも見学してほしいです。

■No.5 ■意見区分：本会議（6/24）

○ 本会議における議長の質問者の呼び方（再提案）について

議長が質問議員を指名する際、「〇〇くん」と呼称しているが、国会を除けば、他の自治体では、「〇〇議員」あるいは「〇〇さん」と呼称しているし、そう表現するのが増えている。ご検討を願いたいと思います。

○ 本会議の一般質問・答弁について

① 本議会は、一問一答方式で進行するとされているが、果たしてそのように進められているのか検証してみてもはどうでしょうか。質問のための質問・時間消化のための質問と思われる内容も見受けられます。時間縮減に努めてほしい。

② 現在の本議会の進め方・一問一答方式に加えて、一提案を追加し「一問一答・一提案方式」を採用してはどうか。質問議員の皆さんの積極的な質問にも繋がり、かつ答弁する関係部長の問題意識・取組意識の喚起にも繋がると思います。

○ 本会議での各議員の質問について

再質問は、当局の答弁の再確認程度にとどまっている。もっと突っ込んだ内容に。

○ 高校生の傍聴について

一関一高生の傍聴に、議員も襟を正した緊張感を感じました。今後も継続を。場からの質問も受け、市側の答弁を求めるなど、全体議員の質疑参加意欲、議場の一体感と緊張感を持たせてはどうか。

→質問議員と答弁者・当局だけの今の議場を活性化する効果あり。（現在は、他の議員は議員席に座り、聞いているだけであり、控室などほかの場所で傍聴するのと同じ）

■No.6 ■意見区分：議会だより

- ① 表紙について
2月通常会議、何ページに何を記しているか、はっきりわかりやすく表現してみ
てはどうでしょうか。高齢者にとってはどうでしょうか。
- ② ズームアップ (P4～P5)
よかったですと思いますが、もう少し字を大きく読みやすいようにしてみたらどうで
しょうか (ポイントをしばってみては)。
- ③ 総括質疑 (P6～P7)
「Q」、「A」はどんな意味なのでしょう (高齢者には疑問)。
- ④ 代表質問、一般質問 (P8～P14)
ページ数を増やして、わかりやすい文章表現が必要と思います。
- ⑤ その他
他の市や県の議会だよりも参考にしてみたらいかがでしょうか。

■No.7 ■意見区分：本会議 (9/5)

- ① 傍聴3回目、一般の人の傍聴がほとんどなかったことは残念でした。もっと関心を
持っていただける工夫はないのでしょうか (議員さんにも責任があると思います)
- ② 25名中、議会中に寝ている人が2人、私語をしている人が1人。悲しくなりまし
た、残念です。
- ③ 議会中なので、自分の一般質問がなくとも、他人の一般質問を聴くことが大切と思
いますが、他の人の話を聞くことは、そこから得るものがあると思いますが、どうで
しょうか。
- ④ 答弁席側には9:40頃には全員がいたようですが、質問者である議員が10時5分
前から入ってきたようですが、約束なのでしょう、不思議に思いました。入って
来るとき、あいさつをして入って来る人とそうでない人がいたことはさみしく思いま
した。
- ⑤ 質問者は自分の考え方もしっかりと持って話してほしかった。
- ⑥ 議長、副議長はどのようにして決めているのでしょうか。質問者が質問した内容に
ついては、当局に任せっぱなしにならないよう監視していくことも必要になるのでは
ないかと思います。今後役に立てていただきますようお願いいたします。

■No.8 ■意見区分：本会議（9/9）

- ① 決まり切った質問や答弁ではなく、もっと前向きな話し合い、議会であってほしい。
- ② 議会中、私語や居眠りはつつしんだほうがよいと思いますが、いかがでしょうか。
- ③ 質問議員を呼ぶとき、さん・くんではなく、～議員と呼んでみてはどうでしょうか。
- ④ 残念ながら、活気のない一関市議会を傍聴させていただき、勉強になりました。

■No.9 ■意見区分：未指定

- ① 開かれた議会、信頼される議会をめざしてほしい。
- ② 議会と市民、共に考える予算を示してみても（わかりやすいように）。
- ③ マイナンバーカードのメリット、デメリットを示してほしい。
- ④ 模擬議会の開催をしてほしい。
- ⑤ 質問・答弁の時間を考えてほしい。
- ⑥ 本会議で議員を呼ぶとき、「くん」はどうかと思います。
- ⑦ 議会中の議員の様子を改善を。

■No.10 ■意見区分：決算審査特別委員会（9/13）

- 決算審査特別委員会総括質疑のあり方について
総括質疑の対象は、どのような項目と内容等を想定しているのかよく分からない。予算を含む政策に関する質問になっており、何ら一般質問と変わらない。併せて、質問の内容も細部に関することが多く、総括質疑において議論するまでもないものも見受けられる。
 - 分科会あるいは専門部会などを設置するなどして、詳細は委ねて、総括はもっと大局的な観点からの質疑を期待したい。
 - 分科会に細部を委ねた方が、総括質疑の時間が縮減され、各議員の質問重複等をさけることも期待されます。
- 同上委員会の質疑のやり方について
質問者の質問内容が不明確であり、事前の下調べなど精査が不足しています。答弁者の答弁も長すぎます。
 - 両者とも、単刀直入な質問や答弁として、迅速かつ的確な質疑を期待します。

■No.11 ■意見区分：通常会議

- 市民の市議会・市議会議員への関心の低さの要因と思われる点
1. 議員が市民の声を聞いていない。当選だけが目的で「市民の代議員」としての役割を果たしていない。(例：議会報告会などの非開催、会報などの非発行) 議員は特別な職にあり、一般市民とは「違う世界」にいる。(例：議員報酬の引上げ、地域活動の不参加など)
 2. 議会の目的・役割が市民に理解されていない。結果、出したい人が遠慮して、出たい人が立候補、選挙の話題も低調となり、投票率も低迷する。議員に対する期待も低く議会の傍聴人も少数。議会だよりも読んでいる人は少数。
 3. 「議会の威厳」が邪魔していると思われる点、議会が特別と思わせる点
 - ・ 議長の指名を「君」「議員」「委員」から「さん」にできないか。
 - ・ 議長から指名を受けた者が、いちいち「議長」というのは発言の許可を得ようとしているものなら、不要と思われる。
 - ・ 黒い服着て、冷房は不自然。半袖の開襟シャツで涼しい服装を。
 - ・ 「ご清聴ありがとうございました。」は誰に対して? 弁論大会ではありませんよ。
 - ・ 当局答弁に「ありがとうございました。」当局の答弁に御礼は不要ですよ。
 4. 市民の存在を意識していない点
 - ・ 特に本会議では、市民の目や耳を意識して欲しい。「資料のとおり」「報告書のとおり」の繰り返しでなく、概略の説明は必要。
 - ・ 決算の認定で、一年間の事業を羅列して市長の姿勢を評価したり、逆に不評の弁での討論では市民に理解できない。予算が市民に対していかに効果的に使われ、その成果を具体的に述べるのが賛成討論であり、その逆が反対討論となるもの。
 - ・ 討論は賛否それぞれ少なくとも1名は必要であり、常識であろう。一方の討論で評決は討論しない方が圧倒的多数とは摩訶不思議である。賛否活発な議論を望むものです。
 5. 議員の勉強不足の点(もちろん全員ではないと思います。)

特に一般質問で事前学習・事前研究などの準備不足から、一回目は意気揚々と自己陶醉の弁論大会の如くであるが、肝心・要の再質問以降はまさかのトーンダウン。これは残念ながら議会だよりなどでは市民にバレることもないのであります。
- 市長や部長等に「ご提言いただき」「ご教示・ご指導いただき」「貴重なご意見をいただき」「ありがとうございました」～と言わせてみたいものですね。

■No.12 ■意見区分：未指定

- 臨時議会では、ひとつの議案に対し、ひとりの議員でなかったためか、より充実していたように感じた。通常会議でも望む。
- 質問に対し、ことばだけで応えるのではなく、数値やグラフ化して見える化にすると理解、寄り添いやすい。議員の机上にあるパソコンと共有できたならいい。
- 市役所1階に市民の室がある。テレビがあるので、議会中に流してほしい。
議会傍聴は勇気がいる（敷居が高く感じる）時間がないという方へも、より参加型・身近に関心を寄せてもらえるかも。
- 実現可能な提案をより深く、多くできるような議員の発言を望む。